

第5回 上郡ピュアランド山の里あり方検討委員会 議事概要

日 時	令和5年11月27日(月) 14時55分～17時00分
場 所	上郡町役場 301会議室
出席者	委員：大崎基弘、西山武彦、安達精治、江口善章、三品正博、近都学、上林敏明 事務局：深澤寿彦、長谷川靖、山本亨紀、櫻村昂彦 その他：町長 梅田修作
概 要	<p>1 開会 事務局より、配付資料の確認。</p> <p>2 あいさつ 町長及び大崎委員長よりあいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 意見の取りまとめについて</p> <p>事務局より、今までの取りまとめとして「上郡ピュアランド山の里の今後のあり方について(たたき台)」の素案について説明を行う。</p> <p>また、次のとおり意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大人数を受け入れ、宴会の実施も可能な飲食施設もあまり無い」とあるが、この表現だと多少はそういった施設もあると言っているように思える。ピュアランドを除けば大規模での宴会が可能な飲食施設は全く無いという状況ではないのか。 ・「これまでの研修宿泊施設としての活用に限定せず」とあるが、この書き方だと研修宿泊施設としての用途は度外視して良いように見える。今まで出ていた意見としては、ピュアランドの利用度が増すように『研修宿泊施設としての活用に+αする』又は『研修宿泊施設としての代替機能を別に考える事を前提に他の用途としての利用も考える』という内容だったと思うので、文言の修正が必要である。 ・上下分離の事業手法の中で、「(指定管理者制度を除く)」とあるが、今まで運営してきた事業者が結果的に赤字であっただけであり、指定管理者制度が悪い手法というわけではないので、これを否定しなくても良いのではないか。 ・休館に至る経緯を明記しているが、これ以外にも、不安定な運営体制や施設の老朽化等により、利用者の満足度を高めるサービスが提供できなかったことも理由としてあるため、経緯として入れるべきではないか。 ・「コロナ禍で悪化した経営状況は依然として厳しく」とあるが、既に休館しているので日本語としておかしいのでは。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回取りまとめた意見を反映し修正を行ったものを各委員へ送付する。改めて確認のうえ、内容に問題無ければ、検討委員会としての最終取りまとめ意見として町長へ報告することとする。 <p>5 閉会</p>